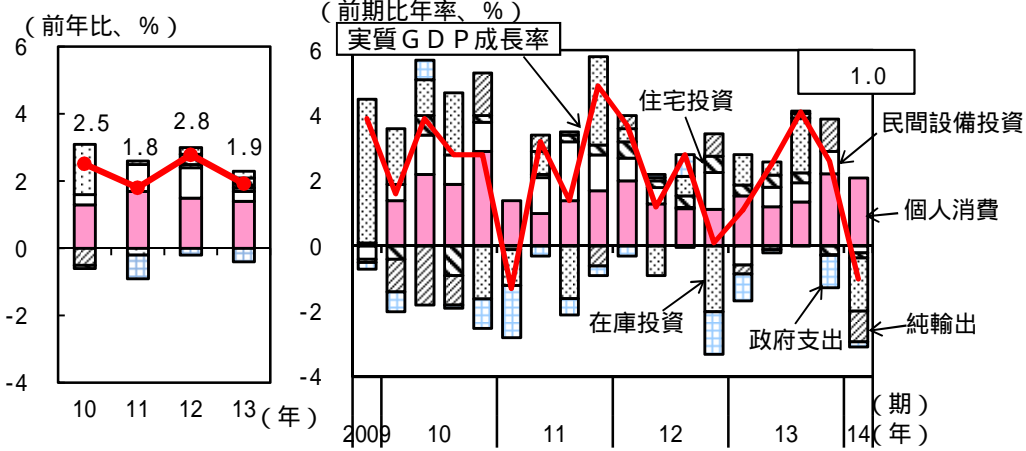


1. アメリカ

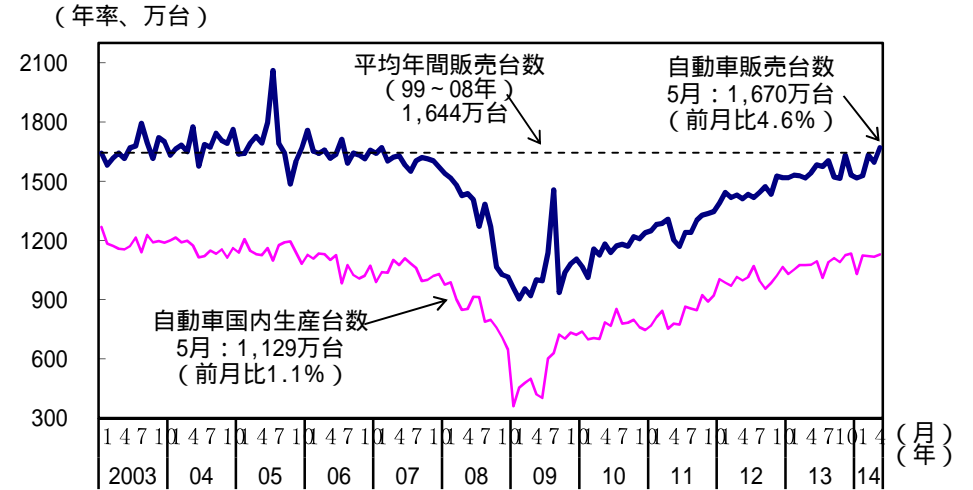
アメリカでは、景気は回復している。

実質GDP成長率（2次推計値）
2014年1～3月期は前期比年率 1.0%成長

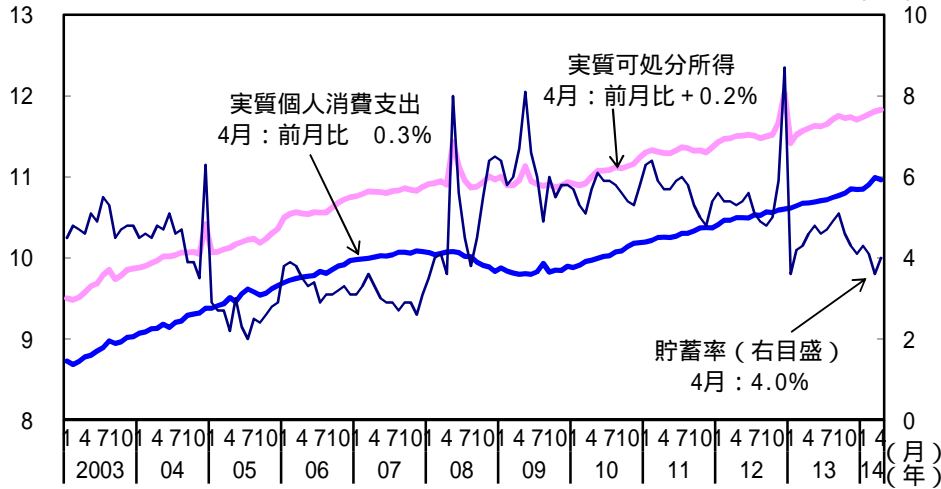


（備考）2014年1～3月期の寄与度（%）は以下のとおり。個人消費：2.1、民間設備投資：0.2、住宅投資：0.2、在庫投資：1.6、政府支出：0.2、純輸出：1.0。

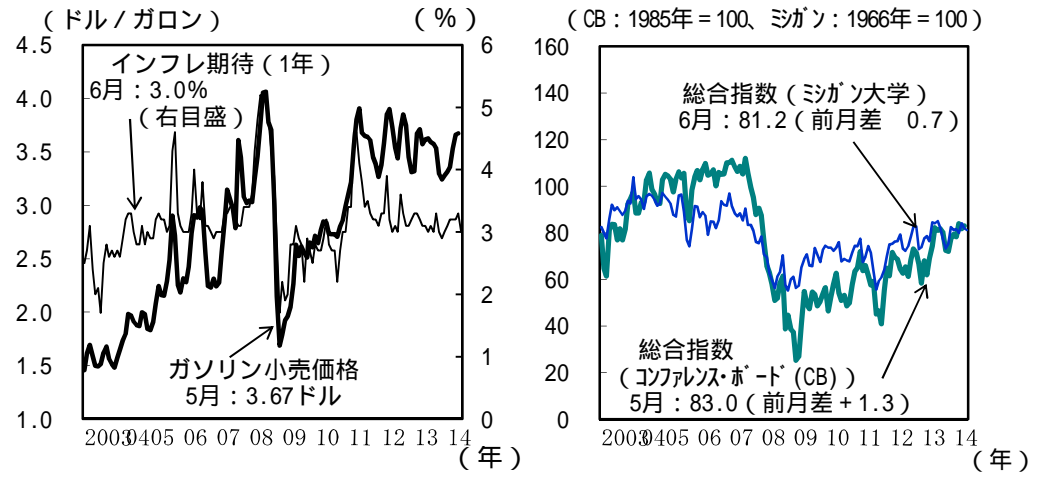
自動車販売台数は増加



消費は増加

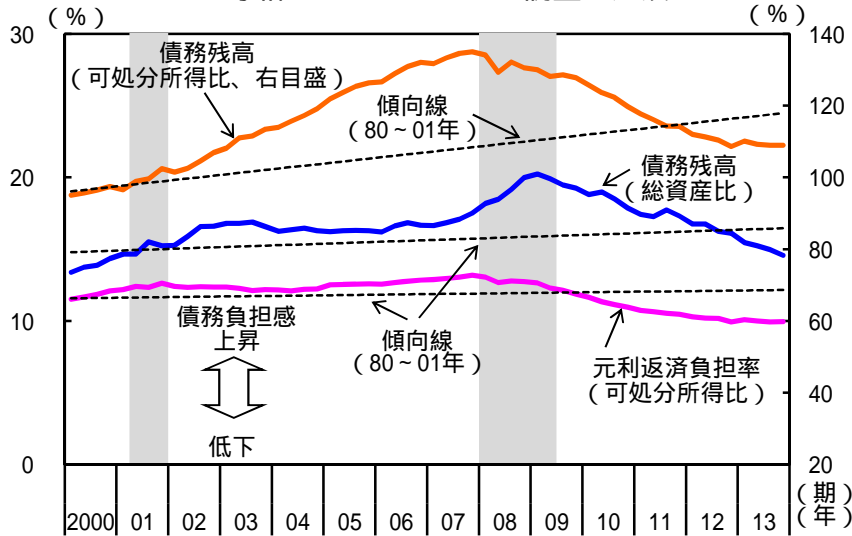


消費者信頼感指数は持ち直し



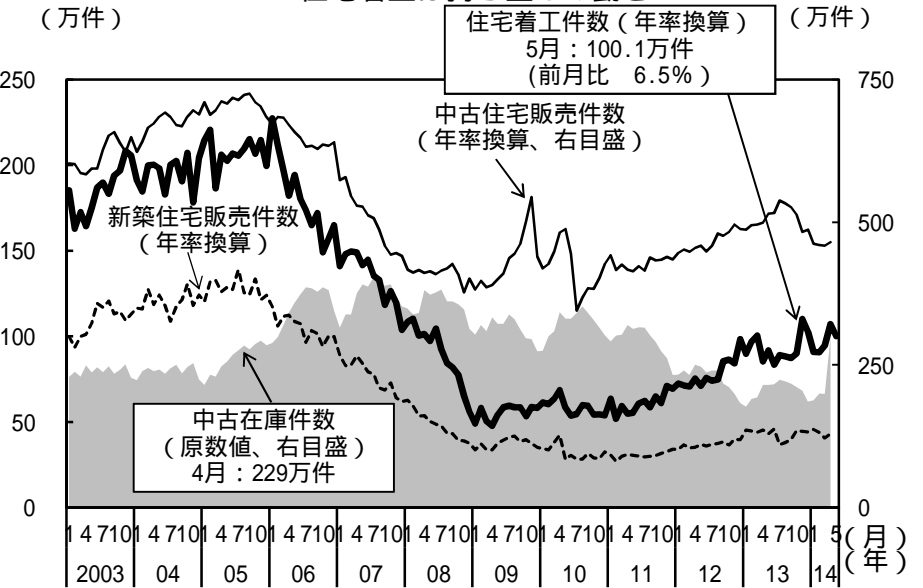
（備考）1.インフレ期待は、今後1年後における物価上昇率予測回答の中央値。
2.ガソリン小売価格は月平均価格。

家計のバランスシート調整は進展



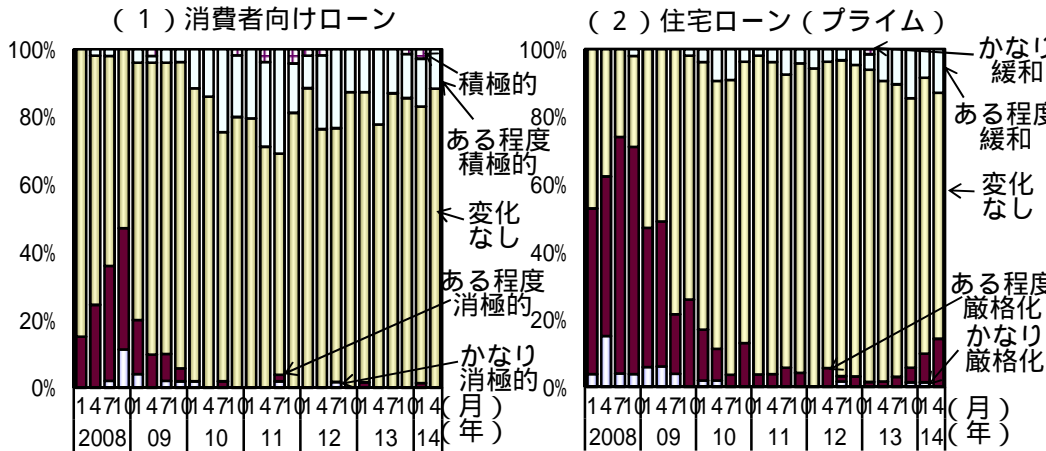
(備考) 1. 網掛け部分は景気後退期。
2. 「元利返済負担」は、住宅ローン及び消費者ローンの返済負担を示す。

住宅着工は持ち直しの動き



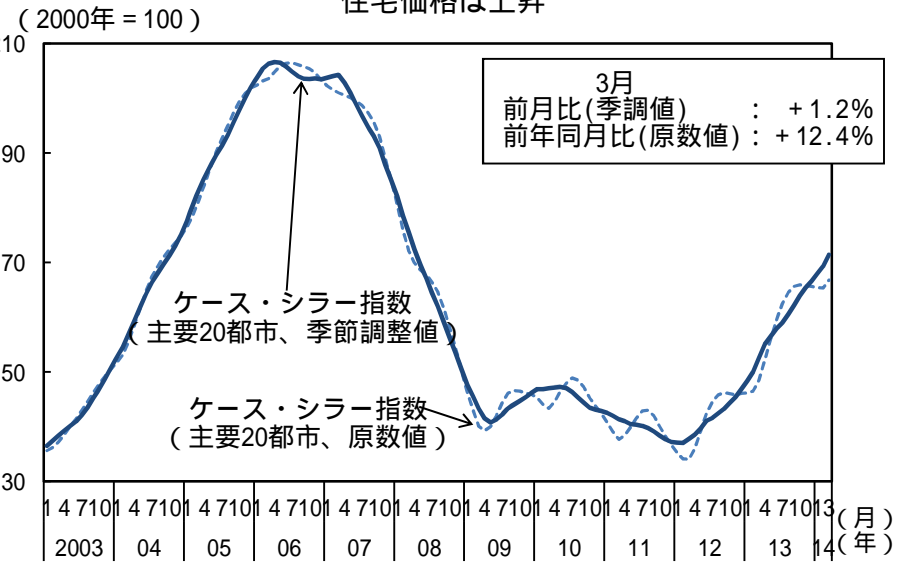
(備考) 14年4月の販売件数に対する中古在庫の割合は5.9ヵ月分、コアロジックが公表する市場にでない潜在的な在庫(14年1月)は4.4ヵ月分に相当。

金融機関の消費者向けローンに対する貸出態度はやや緩和

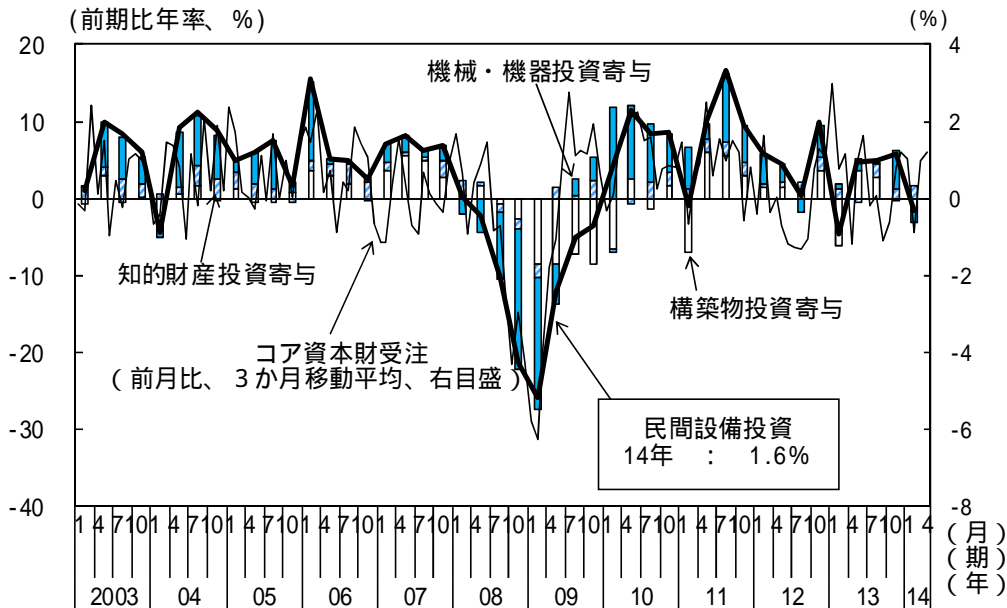


(備考) 1. 金融機関に対し、(1) 過去3か月間で消費者向けローンに対する貸出態度をどのように変化させたか、(2) 住宅ローン(プライム)の申請に対する貸出基準をどのように変化させたか、それぞれアンケート調査を行ったもの。
2. 消費者向けローンは住宅ローンを含まない。

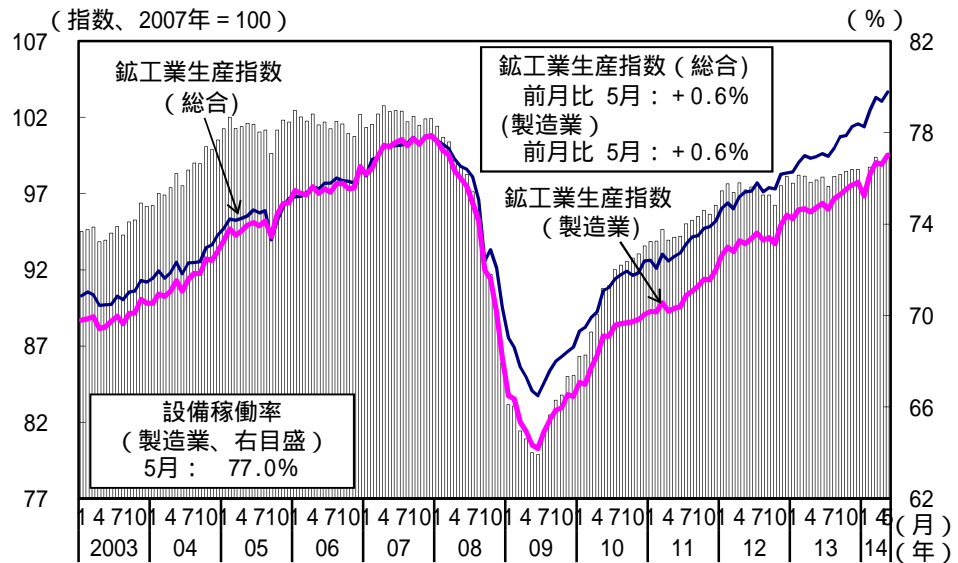
住宅価格は上昇



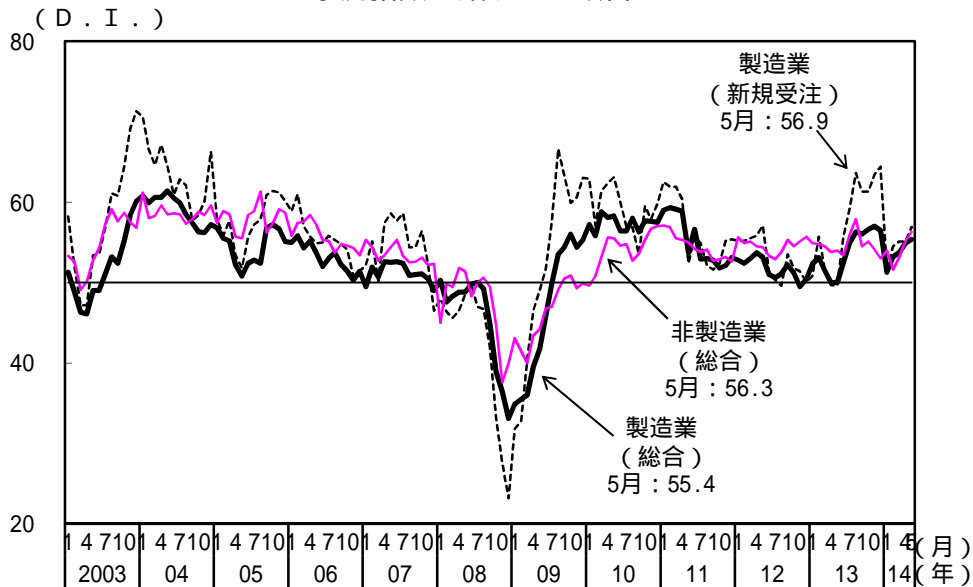
設備投資は持ち直し



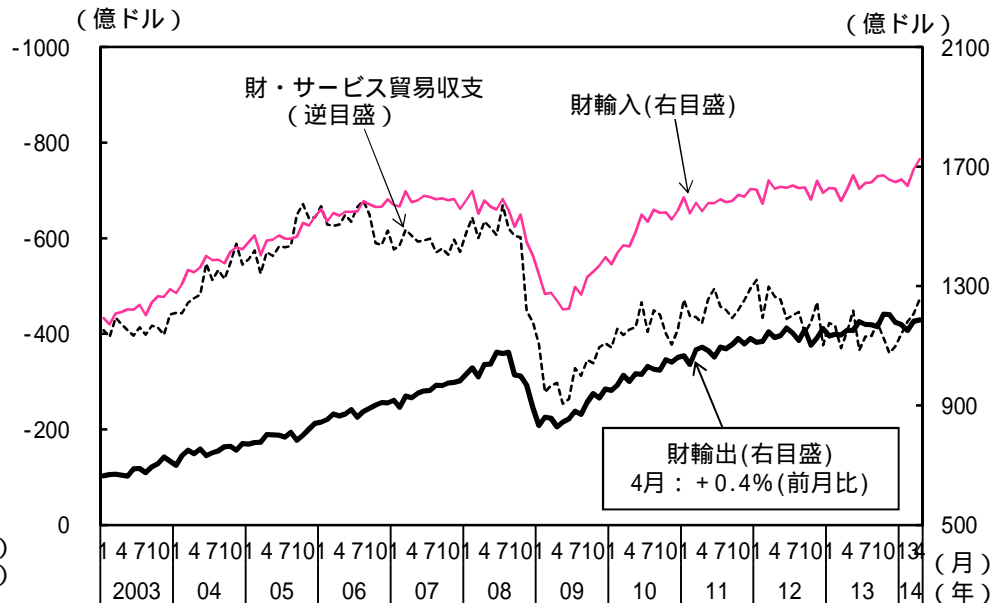
生産は増加



景況指数は緩やかに改善

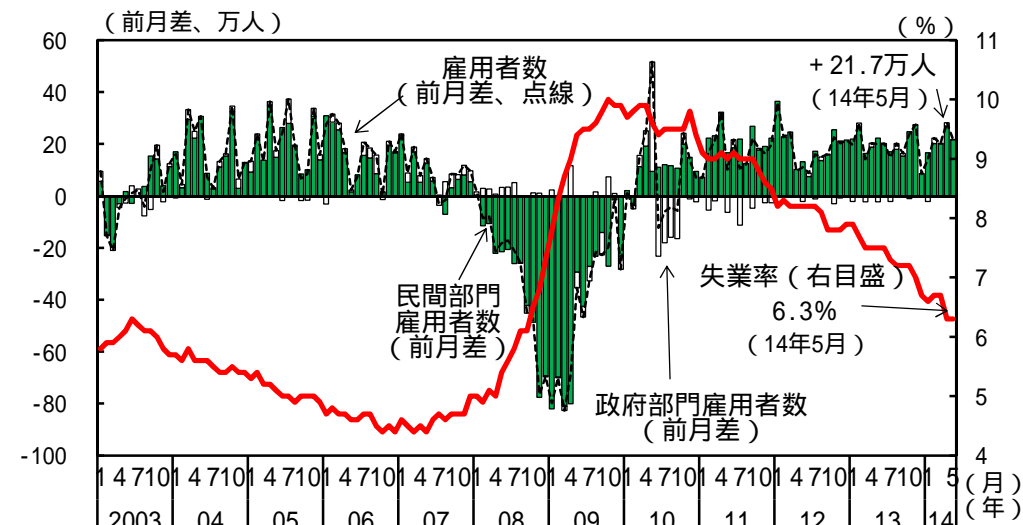


財輸出はおおむね横ばい



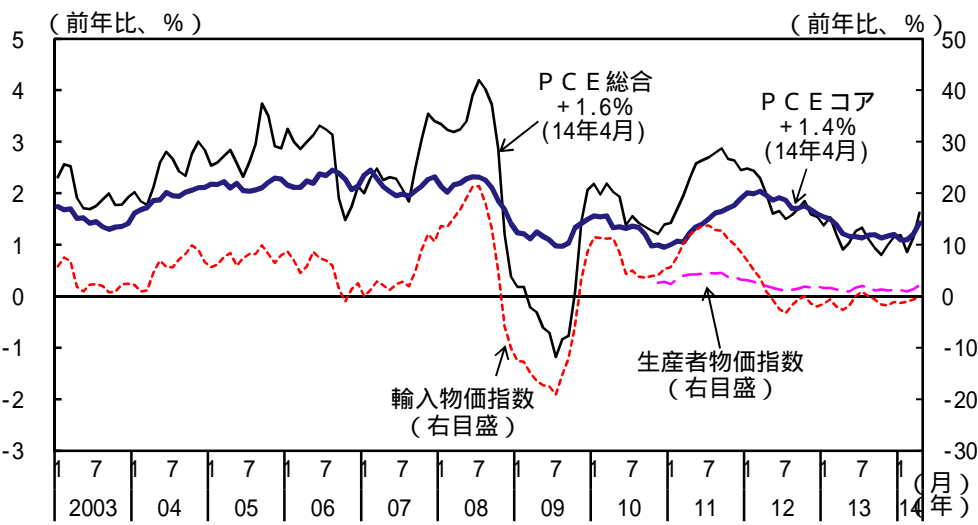
(備考)財輸出入は通関ベース(実質)、財・サービス貿易収支は国際収支ベース(名目)。

雇用者数は増加しており、失業率は低下



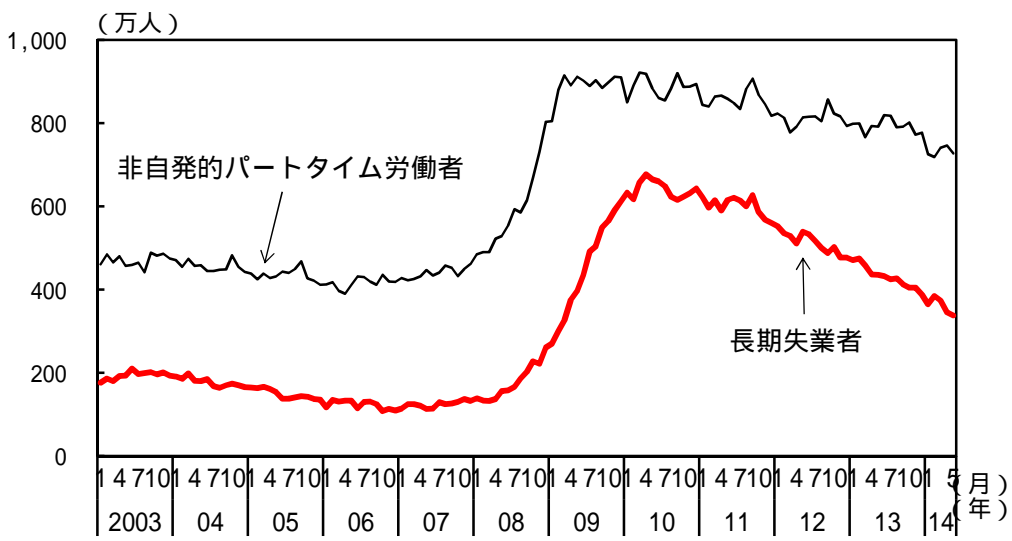
(備考) 1. 雇用者数は非農業部門。
2. 2008～09年の雇用者数の増減は 866.3万人、10年以降の雇用者数の増減は +877.6万人。

コア物価上昇率は緩やかに上昇



(備考) コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数。

長期失業者は緩やかに減少



FEDのバランスシート (資産サイド)

